

シャッター速度測定器

●仕様

測定範囲	1/1000~1/1 秒
電源	DC9V 専用電源アダプタまたは 006P 乾電池使用
消費電流	約 22mA
光源	ミニレフ電球 40W または同等品
対応カメラ	基本的には 35mm カメラ用

●構成



●測定に必要なもの

(1) 光源 白熱電球に限る。
蛍光灯、電球型蛍光灯は不可。

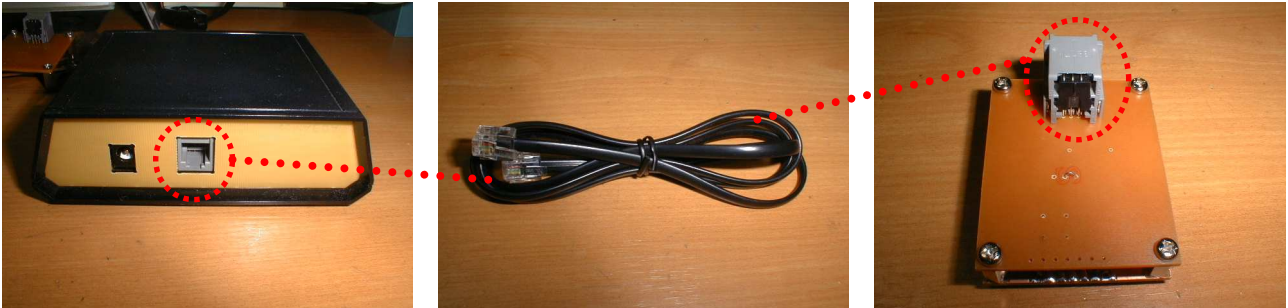
(2) トレーシングペーパー
光を拡散する為、カメラのレンズ前に貼り付ける。



●準備

(1) 本体と、センサを接続します。

本体後部のモジュージャックに、ケーブルを接続します。ケーブルの反対側をセンサに接続します。



(2) 電源を接続します。

本体後部の DC ジャックに、電源アダプタまたは電池を接続します。
さらに、電源アダプタをコンセントに接続します。



(3) カメラのレンズに、トレーシングペーパーをかぶせます。

このとき、マスキングテープを使用すれば、糊が残りにくく容易に剥がす事ができます。



(4) 光源の前にカメラを設置します。正面から受光するように、本などを積み重ねて、高さを合わせます。

【注意】 電球の熱で、トレーシングペーパーやカメラ本体を焼かないように、十分、気を付けて下さい。



光源とカメラとの間隔は、極端に接近せず、10~20cm ぐらいにして下さい。

(5) カメラにセンサを装着します。



マスキングテープで固定すると、カメラの操作がしやすくなると思います。

(6) カメラの絞りは、最大に開けておいて下さい。

●メモ

ソフトのバージョン1.0では、フロントパネルの押しボタンは何の機能もありません。

押しボタンの位置



ソフトのバージョン



●使用手順

- (1) 光源を点灯します。
- (2) カメラのシャッターを切ります。
すると、測定器の液晶バックライトが一瞬消えます。(測定中を意味しています)
- (3) 結果が表示され、ピーツと鳴ります。



(下の段の) 左側の数字は、秒単位での測定時間を示します。この写真では0.0105秒です。
(下の段の) 右側の数字は、その時間を分数で、おおよそ(小数以下切り捨て)の値で示します。

- (4) もし、測定不能の場合は、エラーが表示され、ブーと鳴ります。



測定不能の原因として、光量不足が考えられます。センサの感度を下回る光量になると、信号が途切れてしまう為です。

これに限らず、測定値が異常と思われる場合も、何度かシャッターを切り直すか、カメラと光源の位置を調整してみてください。